

市民と議員で新たな地域を創り出す

政経セミナー

第2期特別講座 No. 1

## 大震災後の地方自治体の課題と議会

一国と地方の関係を変える議会の役割とは一

日時 8月11日(木) 午後6時30分

場所 越谷市中央市民会館 第2・3会議室

越谷市越ヶ谷4-1-1 TEL048-966-6622

講師 廣瀬克哉 法政大学教授 /自治体議会改革フォーラム代表

定員 50人(先着順) 会員登録(年間) 議員5000円 市民2000円

受講料 1講座 1000円(会員は500円)

主催 政経セミナー運営委員会(代表 辻 浩司 越谷市議会議員)

本年4月の統一自治体選挙は、3・11東日本大震災の影響を受け自粛運動や争点なき選挙と言われました。しかし政経セミナーが策定した「統一ローカルマニフェスト2011」を掲げた超党派7人の越谷市会議員と2人の埼玉県会議員の当選を果たすことが出来ました。

同時に市会議員選挙の投票率は過去最低の39.76%となり実に有権者15万人が棄権をしたこととなります。市民に最も身近な市会議員選挙で何故これ程の投票権の放棄が起こったのか。それは市民が市政に関心がなかった訳ではなく、越谷市の未来の選択肢を候補者から提起されないため選択すべき政策が不透明だったことに大きな原因があります。そこで第1期政経セミナーの成果を引き継ぎ、「統一ローカルマニフェスト2011」の点検、検証を始め、第2期の特別講座を開始します。東日本の基礎自治体では地域再編にむけ苦闘が続いていますが、基礎自治体の課題と共に市議会がどのような役割を果たすべきなのか、東日本の自治体の現地報告を踏まえお話をして頂きます。

### 開催内容



- |      |       |                       |             |
|------|-------|-----------------------|-------------|
| 第1講義 | 8月11日 | 大震災後の地方自治体の課題と議会      | 法政大学教授 廣瀬克哉 |
| 第2講義 | 10月   | 市民参加のまちづくりの挑戦とその軌跡    | 県内市長(予定)    |
| 第3講義 | 12月   | 議会基本条例の進捗と議会改革の実態     | 地方紙記者(予定)   |
| 第4講義 | 2月    | 原子力発電とエネルギー政策を考える     | 研究者(予定)     |
| 第5講義 | 4月    | 超高齢化社会に於ける地域ネットワークづくり | 学者(予定)      |
| 第6講座 | 6月    | 統一ローカルマニフェスト2011 検証集会 |             |